様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー
設置者名	学校法人２１世紀アカデメイア

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
観光専門課程	旅行学科ﾄﾗﾍﾞﾙ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1632 時間	80×2＝160 時間	
	旅行学科ﾂｱｰｺﾝﾀﾞｸﾀｰ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1632 時間	80×2＝160 時間	
	旅行学科ﾂｱｰﾌﾟﾗﾝﾅｰ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1632 時間	80×2＝160 時間	
	旅行学科ﾄﾗﾍﾞﾙｶｳﾝﾀｰ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1632 時間	80×2＝160 時間	
	旅行学科ﾋﾞｼﾞｯﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1632 時間	80×2＝160 時間	
	旅行学科観光ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1632 時間	80×2＝160 時間	
	観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ学科（昼間部）２年制	夜・通信	960 時間	80×2＝160 時間	
	鉄道ｻｰﾋﾞｽ学科（昼間部）２年制	夜・通信	2112 時間	80×2＝160 時間	
	ｴｱﾗｲﾝ学科（昼間部）２年制	夜・通信	800 時間	80×2＝160 時間	
	ｴｱﾎﾟｰﾄ学科（昼間部）２年生	夜・通信	448 時間	80×2＝160 時間	
	ﾎﾃﾙ学科ﾎﾃﾙ・ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1440 時間	80×2＝160 時間	
	ﾎﾃﾙ学科ﾃｰﾏﾊﾟｰｸ&ﾘｿﾞｰﾄﾎﾃﾙ・ﾃｰﾏﾊﾟｰｸﾎﾃﾙ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1440 時間	80×2＝160 時間	
	ﾎﾃﾙ学科ﾚｽﾄﾗﾝｻｰﾋﾞｽ&ﾊﾞｰﾃﾝﾀﾞｰ・ﾚｽﾄﾗﾝ&ﾊﾞｰﾃﾝﾀﾞｰ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	2016 時間	80×2＝160 時間	

	ﾎﾃﾙ学科ﾎﾃﾙﾌﾛﾝﾄ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1440 時間	80×2＝160 時間	
	ﾎﾃﾙ学科おもてなしﾋﾞｼﾞﾈｽ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1280 時間	80×2＝160 時間	
	ﾌｰﾄﾞｸﾘｴｲﾄ・ｶﾌｪｻｰﾋﾞｽ学科ﾊﾟﾃｨｼｴ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	864 時間	80×2＝160 時間	
	ﾌｰﾄﾞｸﾘｴｲﾄ・ｶﾌｪｻｰﾋﾞｽ学科ﾊﾞﾘｽﾀ&ｶﾌｪﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ・ﾊﾞﾘｽﾀ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	768 時間	80×2＝160 時間	
	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾌﾗﾜｰ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	1760 時間	80×2＝160 時間	
	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科ｳｴﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾗﾝﾅｰ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	2336 時間	80×2＝160 時間	
	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾋﾞｭｰﾃｨ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	2176 時間	80×2＝160 時間	
	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科ﾄﾞﾚｽｽﾀｲﾘｽﾄ専攻（昼間部）２年制	夜・通信	2112 時間	80×2＝160 時間	
	葬祭ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ学科（昼間部）２年制	夜・通信	640 時間	80×2＝160 時間	
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ語学・外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科（昼間部）２年生	夜・通信	1792 時間	80×2＝160 時間	
	韓国語学科（昼間部）２年制	夜・通信	896 時間	80×2＝160 時間	
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ＩＴ観光学科（昼間部）２年制	夜・通信	2144 時間	80×2＝160 時間	
（備考） 旅行学科観光ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻、ﾎﾃﾙ学科ﾎﾃﾙﾌﾛﾝﾄ専攻、韓国語学科 2024 年新設					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名	Ⅱ部夜間部　旅行学科・ホテル学科・ブライダルビジネス学科
（困難である理由） 夜間部に入学を希望する方の需要が減ったため、平成 25 年 4 月より募集停止	

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー
設置者名	学校法人２１世紀アカデメイア

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP 掲載の事業報告書 P.8 にて公表
https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5 事業活動報告書.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社取締役（現職）	2017.11.15 ～ 2025.8.4	ガバナンスの強化
非常勤	有限会社代表取締役（現職）	2024.6.28 ～ 2025.8.4	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー
設置者名	学校法人２１世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

（作成について）

各授業科目については、毎年度、職業実践専門課程に基づき学科での会議（教育課程編成委員会）を実施し授業科目の設定・講義内容を検討・検証後、学内の会議で承認。その後、各授業を担当する教員により、作成を行う。
学内統一様式を使用し、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び予定予算を全科目共通で記載する。

（時期について）

翌年度の講義予定は 10 月に担当教員が作成し 12 月の学内会議で承認後決定。4 月上旬に学内での閲覧を開始する。

授業計画書の公表方法	シラバスに掲載し公表する。 専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学生ハンドブックにおいて、学内の成績評価・卒業要件について規定している。
各期、各科目ごとに出席評価、試験評価（レポート、作品、実技等含む）などによって総合的に評価を行ってい
る。
当該科目の授業について出席率７０％未満の学生及び、試験未受験者の場合は、成績評価の対象外とし履修単位の認定を行わない。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験等）によって評価される。当校では各授業の評価を 100 点満点を基準として、60 点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により 100～90 をＡ、89～70 をＢ、69～60 をＣとして、成績が通知される。 ＧＰＡは、（Ａの授業数×４＋Ｂの授業数×３＋Ｃの授業数×２）の合計を、各生徒が履修済みの総授業数で除した数として算出する。 成績評価方法は、学内で誰でも閲覧でき、入学時に配布する学生ハンドブックで通知する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	シラバス及びホームページに掲載し公表する。 専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能 https://www.tit.ac.jp/about/files/tha_grade_evaluation.pdf
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 専門学校東京ホスピタリティ・アカデミーは実社会に通用する「人財」を育成・輩出することを目的としたカリキュラムを実施している。卒業要件については、学生ハンドブックにおいて基本科目 128 単位すべてを受講し 108 単位以上の修得と各学科で定める卒業要件を満たすことが定められている。詳細については、全学生配布の学生ハンドブックに記載している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生ハンドブックおよびホームページに掲載し公表する。 専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能 https://www.tit.ac.jp/about/files/tha_handbook.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー
設置者名	学校法人２１世紀アカデメイア

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報をＨＰにて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5 貸借対照表.pdf
収支計算書又は損益計算書	最新情報をＨＰにて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5 事業活動収支計算書.pdf
財産目録	最新情報をＨＰにて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5 財産目録.pdf
事業報告書	最新情報をＨＰにて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5 事業活動報告書.pdf
監事による監査報告（書）	最新情報をＨＰにて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r5/R5 監査報告書.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	旅行学科ﾄﾗﾍﾞﾙ専攻		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1920 単位時間／単位	1568 単位時間/単位	単位時間/単位	992 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	28 人	4 人	3 人の内数	2 人の内数	5 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを２クラスに分け授業を行う。 また６月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 （100%）	0 人 （　0%）	11 人 （100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 旅行業界（日本旅行・読売旅行・農協観光・ビックホリデー・JR 東日本びゅうツーリズム＆セールス）等			
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内・総合旅行取扱管理者、旅程管理主任者、国内・海外地理検定、インフィニ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	2 人	8.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失、健康上の理由など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	旅行学科 ﾂｱｰｺﾝﾀﾞｸﾀｰ専攻	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1568 単位時間/単位	単位時間/単位	992 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	7 人	1 人	3 人の内数	2 人の内数	5 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを２クラスに分け授業を行う。 また６月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内・総合旅行取扱管理者、旅程管理主任者、国内・海外地理検定、インフィニ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
４人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	旅行学科 ﾂｱｰﾌﾟﾗﾝﾅｰ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／単位	1568 単位時間／単位	単位時間／単位	992 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	3 人	0 人	3 人の内数	2 人の内数	5 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを２クラスに分け授業を行う。 また 6 月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （ 0%）	人 （ 0%）	人 （ 0%）	人 （ 0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			

（備考）（任意記載事項）
令和５年度２年生在籍０。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	旅行学科 ﾄﾗﾍﾞﾙｶｳﾝﾀｰ専攻		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1920 単位時間／単位	1568 単位時間/単位	単位時間/単位	992 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	０人	０人	３人の内数	２人の内数	５人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを２クラスに分け授業を行う。 また６月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （　0%）	0 人 （　0%）	0 人 （　0%）	0 人 （　0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和 5 年度 2 年生在籍 0。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	旅行学科 ﾋﾞｼﾞｯﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1568 単位時間/単位	単位時間/単位	992 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	2 人	1 人	3 人の内数	2 人の内数	5 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを２クラスに分け授業を行う。 また６月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
０人 （　0%）	０人 （　0%）	０人 （　0%）	０人 （　0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和５年度２年生在籍 0。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	旅行学科 観光ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻	○	
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類		

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920単位時間／単位	1568 単位時間 /単位	単位時間 /単位	992 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2560単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70人の内数	0人	0人	3人の内数	2人の内数	5人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）
授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを２クラスに分け授業を行う。
また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0人（ 0%）	0人（ 0%）	0人（ 0%）	0人（ 0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））

（備考）（任意記載事項）
令和6年度新設。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

0 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1888 単位時間／単位	2016 単位時間/単位	単位時間/単位	640 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2656 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人	48 人	46 人	5 人	3 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等

（概要）
全 16 回の授業の中で、7 回終了時に小テストを実施し学生の理解度の把握に努めている。また、出席・成績不良者には担任教員が面談を行い学習状況の改善及び支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
15 人（100%）	3 人（20.0%）	9 人（60.0%）	3 人（20.0%）

（主な就職、業界等） 旅行業界(平成エンタープライズ・JCIT・モードツアージャパン)、エアライン業界(FMG)、小売業界(スリールズ)・不動産業界(夏野ホームズ)等
（就職指導内容） 業界研究・就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）・日本語能力向上
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験、旅程管理主任者、インフィニ検定、 グローバル人財ビジネス実務検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	2 人	6.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	鉄道ｻｰﾋﾞｽ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1792 単位時間／単位	2208 単位時間/単位	単位時間/単位	704 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2912 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
220 人	158 人	0 人	8 人	6 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて担当教員による時間外や補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担当教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
89 人 （100%）	1 人 （ 1.1%）	84 人 （94.4%）	4 人 （4.5%）
（主な就職、業界等） 鉄道業界(東京地下鉄・小田急電鉄・京王電鉄・京浜急行電鉄)、 バス業界(関東バス・ジェイアールバステック)、警備業界(東急セキュリティ)等			
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、鉄道ゼミ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導・SPI 対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内旅行取扱管理者、運行管理者、サービス接遇検定、サービス介助士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
182 人	9 人	4.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	エアライン学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1856 単位時間／単位	2016 単位時間/単位	単位時間/単位	544 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	50 人	4 人	3 人の内数	6 人の内数	9 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて担当教員による時間外や補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担当教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 （100%）	0 人 （ 0%）	4 人 （100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） エアライン業界（スカイマーク・羽田旅客サービス・羽田エアポートエンタープライズ）、ホテル業界（東京ベイホテル東急）			
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） サービス接遇検定、ビジネス実務検定、サービス介助士、手話検定、TOEIC、インフィニ検定、マナープロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	エアポート学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間／単位	1728 単位時間/単位	単位時間/単位	288 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2016 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	9人	0人	3人の内数	6人の内数	9人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 （100%）	人 （ 0%）	7人 （100%）	人 （0%）
（主な就職、業界等） エアライン業界(スカイマーク・JALグランドサービス・羽田空港サービス・			

インテックス・エコーパートナーズ)
(就職指導内容) 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）
(主な学修成果（資格・検定等）) 国際航空貨物取扱士(IATA ディプロマ)、危険物資格(乙 4 種)、手話検定、 インフィニ検定、マナープロトコール検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	2 人	28.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾎﾃﾙ学科　ﾎﾃﾙ専攻 ﾎﾃﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ専攻			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1888 単位時間／単位	単位時間／単位	1184 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			3072 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人の内数	21 人	8 人	4 人の内数	14 人の内数	18 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 （100%）	0 人 （　0%）	17 人 （89.0%）	2 人 （11.0%）
（主な就職、業界等） ホテル業界(帝国ホテル・ニューオータニ・オークラ東京・ミリアルリゾートホテルズ)、飲食業界(ワイズテーブルコーポレーション・BAR Ofen)等			
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、サービス接遇検定、マナープロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	3 人	8.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾎﾃﾙ学科 ﾃｰﾏﾊﾟｰｸ&ﾘｿﾞｰﾄﾎﾃﾙ専攻　ﾃｰﾏﾊﾟｰｸﾎﾃﾙ専攻	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1760 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1312 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位

			3072 単位時間／単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人の内数	39 人	4 人	4 人の内数	14 人の内数	18 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 （100%）	0 人 （0%）	11 人 （79.0%）	3 人 （21.0%）
（主な就職、業界等） ホテル業界(帝国ホテル・ニューオータニ・オークラ東京・ミリアルリゾートホテルズ)、飲食業界(ワイズテーブルコーポレーション・BAR Ofen)等			
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、サービス接遇検定、マナープロトコール検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

34 人	3 人	8.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	ﾎﾃﾙ学科 ﾚｽﾄﾗﾝｻｰﾋﾞｽ&ﾊﾞｰﾃﾞﾝﾀｰ専攻 ﾚｽﾄﾗﾝ＆ﾊﾞｰﾃﾝﾀﾞｰ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1600 単位時間/単位	単位時間/単位	1472 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3072 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人の内数	8 人	1 人	4 人の内数	14 人の内数	18 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数	その他

		（自営業を含む。）	
8 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (87.5%)	1 人 (12.5%)

（主な就職、業界等）
ホテル業界(帝国ホテル・ニューオータニ・オークラ東京・ミリアルリゾートホテルズ)、飲食業界(ワイズテーブルコーポレーション・BAR Ofen)等

（就職指導内容）
業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）

（主な学修成果（資格・検定等））
ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、サービス接遇検定、マナープロトコール検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	ﾎﾃﾙ学科 ﾎﾃﾙﾌﾛﾝﾄ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1888 単位時間/単位	単位時間/単位	1184 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2496 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140 人の内数	13 人	4 人	4 人の内数	14 人の内数	18 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和６年新設。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾎﾃﾙ学科おもてなし ﾋﾞｼﾞﾈｽ専攻	○	
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類		

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920単位時間／単位	1408 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1088 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2496単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人の内数	7人	6人	4人の内数	14人の内数	18人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和5年度2年生在籍0。			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	1 人	33.3%

（中途退学の主な理由）
進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	ﾌｰﾄﾞｸﾘｴｲﾄ学科 ｶﾌｪｻｰﾋﾞｽ学科 ﾊﾟﾃｨｼｴ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1760 単位時間/単位	単位時間/単位	1312 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3072 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人の内数	4 人	3 人	2 人の内数	5 人の内数	7 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等

（概要）
各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他

人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）	人 （　0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和５年度２年生在籍０。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾌｰﾄﾞｸﾘｴｲﾄ学科 ｶﾌｪｻｰﾋﾞｽ学科 ﾊﾞﾘｽﾀ&ｶﾌｪﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ専攻　ﾊﾞﾘｽﾀ専攻	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1920 単位時間／単位	1664 単位時間/単位	単位時間/単位	1408 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3072 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人の内数	４人	３人	２人の内数	５人の内数	７人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
３人 （100%）	人 （0%）	２人 （66.7%）	１人 （33.3%）
（主な就職、業界等） 飲食業界(武蔵野テーブル)等			
（就職指導内容） インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定、JFAAC フードアナリスト３・４級、SCAJ アドバンスド・コーヒーマイスター資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科 ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾌﾗﾜｰ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間／単位	1152 単位時間／単位	単位時間／単位	1408 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			2560 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70人の内数	0人	0人	3人の内数	8人の内数	11人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界(八芳園・東京會館)、ホテル業界(セルリアンタワー東急ホテル・藤田観光)、花屋業界(ガーデニア)等			
（就職指導内容） 業界研究・インターンシップ・就職試験対策（履歴書・ES添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） BIAブライダルコーディネイター技能検定、レストランサービス技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科ｳｴﾃﾞｨﾝｸﾞﾌﾟﾗﾝﾅｰ専攻		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	1632 単位時間／単位	単位時間／単位	1440 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			3072 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	15 人	0 人	3 人の内数	8 人の内数	11 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数	その他

		（自営業を含む。）	
6 人 （100%）	0 人 （　0%）	6 人 （100%）	0 人 （　0%）

（主な就職、業界等）
ブライダル業界(八芳園・東京會館)、ホテル業界(セルリアンタワー東急ホテル・藤田観光)、花屋業界(ガーデニア)等

（就職指導内容）
業界研究・インターンシップ・就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）

（主な学修成果（資格・検定等））
BIA ブライダルコーディネイター技能検定、レストランサービス技能検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	1 人	6.3%

（中途退学の主な理由）
進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科 ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾋﾞｭｰﾃｨ専攻		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1792 単位時間／単位	1184 単位時間/単位	単位時間/単位	1760 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2944 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	0 人	0 人	3 人の内数	8 人の内数	11 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）	1 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） ブライダル業界(八芳園・東京會館)、ホテル業界(セルリアンタワー東急ホテル・藤田観光)、花屋業界(ガーデニア)等			
（就職指導内容） 業界研究・インターンシップ・就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） BIA ブライダルコーディネイター技能検定、レストランサービス技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	観光専門課程	ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ学科 ﾄﾞﾚｽｽﾀｲﾘｽﾄ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間／単位	1216 単位時間/単位	単位時間/単位	1728 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2944 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人の内数	2 人	0 人	3 人の内数	8 人の内数	11 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （ 0%）	人 （ 0%）	人 （ 0%）	人 （ 0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和 5 年度 2 年生在籍 0。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	葬祭ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1792 単位時間／単位	1408 単位時間/単位	単位時間/単位	1024 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2432 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	17 人	0 人	2 人	4 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 （100%）	0 人 （ 0%）	10 人 （91.0%）	1 人 （9.0%）

（主な就職、業界等） 葬祭業界(千代田・家族葬のファミーユ・サンセルモ)等
（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）
（主な学修成果（資格・検定等）） 葬祭ディレクター、サービス接遇検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	4 人	17.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ語学学科 外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	4864 単位時間/単位	単位時間/単位	704 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			5888 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	29 人	0 人	4 人	10 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準

（概要） 様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 （100%）	4 人 （11.8%）	20 人 （58.8%）	10 人 （29.4%）
（主な就職、業界等） 飲食業界(ユニマットダイニング・WDI JAPAN）・エアライン業界(羽田旅客サービス）、美容業界(柿本榮三美容室・EARTH 東松山店)等			
（就職指導内容） 就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、TOPIK、ハングル能力検定、手話技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	9 人	14.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	韓国語学科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間／単位	3424 単位時間/単位	単位時間/単位	320 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3840 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数

80 人	36 人	0 人	4 人	10 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （ 0%）	人 （ 0%）	人 （ 0%）	人 （ 0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和 6 年度新設。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		

（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		観光専門課程	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科 ＩＴ観光学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920単位時間／単位	2448 単位時間 /単位	単位時間 /単位	800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3216単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30人	3人	0人	2人	2人	4人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 旅行業界(T-LIFEホールディングス・トランスファーデータ)、 ホテル業界(富士屋ホテル)			

（就職指導内容） 業界研究、インターンシップ、就職試験対策（履歴書・ES 添削・面接指導等）
（主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート試験
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	1 人	14.3%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
旅行（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
鉄道ｻｰﾋﾞｽ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ｴｱﾗｲﾝ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ﾎﾃﾙ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ﾌｰﾄﾞｸﾘｴｲﾄ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
葬祭ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ語学(1年)	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
韓国語（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.tit.ac.jp/about/files/information_disclosure.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関係企業、協会、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容は理事会、学校運営委員会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益財団法人協会　理事	2024.4.1～2026.3.31	協会
一般社団法人　理事長	2024.4.1～2026.3.31	協会
特定非営利活動法　理事長	2024.4.1～2026.3.31	協会
旅行会社　役員	2024.4.1～2026.3.31	企業
ブライダル業　役員	2024.4.1～2026.3.31	企業
料飲業　役員	2024.4.1～2026.3.31	企業
旅行会社	2024.4.1～2026.3.31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.tit.ac.jp/about/files/information_disclosure.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.tit.ac.jp/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310400337
学校名（○○大学 等）	専門学校東京ホスピタリティ・アカデミー
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人２１世紀アカデメイア

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		49人	43人	43人
内訳	第Ⅰ区分	32人	26人	
	第Ⅱ区分	14人	11人	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				43人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		－	－
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		－	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	－
３月以上の停学	0人
年間計	－
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		0人	－
計		0人	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。